

秋菊（しゅうぎく）の物語（1992）

秋菊打官司

THE STORY OF QIU JU

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 中国／香港

色彩 Color

時間 101分

初公開日 1993/06/19

公開情報 フランス映画社

【解説】

国際的な場で活躍することがプラスに作用する映画作家とそうでない者がいる。中国第五世代の監督たち（その何人かは本国では撮らせてもらえず、やむを得ず海外にその才能活かす場を求めているのだが）にもそれは言え、明らかに「さらば、わが愛／霸王別姫」での陳凱歌は後者、張藝謀も出国こそしないが、「菊豆」「紅夢」と外国資本で製作した映画には西欧受け狙いのエスニズムが支配的で、天安門以降、国内で映画作りを続けることのプロテストを感じられはしなかった。が、本作は違う。故郷の陝西省に帰って撮ったこの映画で彼は、今までの彼の作品を特徴づけていた華麗な撮影技巧を排し、複数の16mmカメラを使用。大勢の素人役者たちからカメラを意識しない演技を引きだし、永遠のヒロイン、コン・リーを自然にそのアンサンブルに加え、その従来 of 耐える女から頑迷なまでに主張する女への変化を、とつとつと進む物語りの展開そのままに納得させる。彼女扮する秋菊の夫の急所が村長に蹴られて……という出来事が遂には中央政府に訴え出るまでになるのが一応の筋だが、単に官僚主義をあざ笑うだけではない、大らかな人間賛歌がそこに脈うって、観ていて元気になること疑いなしの映画だ。腹ボテの図体を揺らし遠方の役所までトボトボ歩くコン・リー。その綿入れの赤、背景に吊される唐辛子の赤はこれまでの張藝謀の“赤”と違って、目に染み胸に染みる味わい深い赤だ。

【クレジット】

| | | |
|-------|-----------|--------------|
| 監督 | チャン・イーモウ | Zhang Yimou |
| 製作総指揮 | 馬逢国 | |
| 原作 | チェン・ユアンピン | |
| 脚本 | リュウ・ホン | Liu Heng |
| 撮影 | チー・シャオニン | |
| | ツイ・シャオチュン | Yu Xiao-Qun |
| | 盧宏義 | |
| 音楽 | ツァオ・チピン | Zhao Ji-Ping |
| 出演 | コン・リー | Gong Li |
| | リウ・ペイチー | Liu Peiqi |
| | レイ・ラオション | |
| | コー・チーチュン | |
| | ヤン・リュウチュン | |